

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社 FOOD & LIFE COMPANIES（証券コード: 3563）

【据置】

長期発行体格付	A－
格付の見通し	安定的
債券格付	A－

■格付事由

- (1) 外食大手の一角。回転寿司チェーン最大手あきんどスシローを傘下に置く持株会社。直営方式で運営する「スシロー」を主力とする。スシローは業界屈指の食材調達力、味と鮮度にこだわった店内調理、IT システムを活用した効率的な店舗運営などを強みとする。25 年 6 月末現在、グループとして 1,180 店舗（国内 960 店舗、海外 220 店舗）を構える。近年は海外展開に注力しており、中華圏と東南アジアでスシローを積極出店している。グループの一体性は強く、格付はグループ全体の信用力を反映している。
- (2) 国内、海外ともに好調に推移している。国内では食材価格や人件費が上昇するなど厳しい事業環境にあって、強い競争力を発揮している。価格政策や販促施策、店舗改装などが効果を上げており、客単価を引き上げながらも、客数を伸ばしている。海外では店舗数の増加とともに業績貢献度が高まっている。他方、財務体質は健全で、財務構成は緩やかに改善しているが、格付対比では改善の余地が残る。以上により、格付を据え置きとし、見通しを安定的とした。
- (3) 25/9 期の会社計画の営業利益（IFRS）は 350 億円（前期比 49.7%増）である。国内スシロー事業では既存店売上が伸長しており、食材コストや人件費の管理も適切に行われている。デジタル上のレーンにすしが流れる「デジロー」の導入は、郊外店を中心に客数増や客単価の上昇につながっている。海外スシロー事業では、既存店の採算が良い状況にある。中国などで積極的な出店を続けているが、人材教育や店舗のサービスレベルには注意が払われており、急速な客離れが生じるリスクは抑制されていると考えられる。
- (4) 25/9 期第 3 四半期末の親会社の所有者に帰属する持分は 923 億円（24/9 期末 765 億円）、親会社所有者帰属持分比率は 23.3%（同 20.5%）となった。利益の資本蓄積が進展し、財務構成は改善しつつある。25/9 期と 26/9 期の 2 年間で、国内外で約 680 億円の設備投資を計画しているが、キャッシュフロー創出力が高まっており、リース負債を除く有利子負債が大きく増加することはないと想定される。

（担当）殿村 成信・佐藤 洋介

■格付対象

発行体：株式会社 FOOD & LIFE COMPANIES

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A－	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 2 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	50 億円	2020 年 1 月 23 日	2030 年 1 月 23 日	0.350%	A－
第 4 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	120 億円	2023 年 12 月 20 日	2028 年 12 月 20 日	1.062%	A－
第 5 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	76 億円	2023 年 12 月 14 日	2028 年 12 月 14 日	1.062%	A－
第 6 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	50 億円	2025 年 1 月 23 日	2030 年 1 月 23 日	1.351%	A－

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025 年 8 月 18 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武
主任格付アナリスト：殿村 成信
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024 年 10 月 1 日）、「外食」（2023 年 6 月 1 日）、「持株会社の格付方法」（2025 年 4 月 2 日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社 FOOD & LIFE COMPANIES
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官 (格付) 第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル